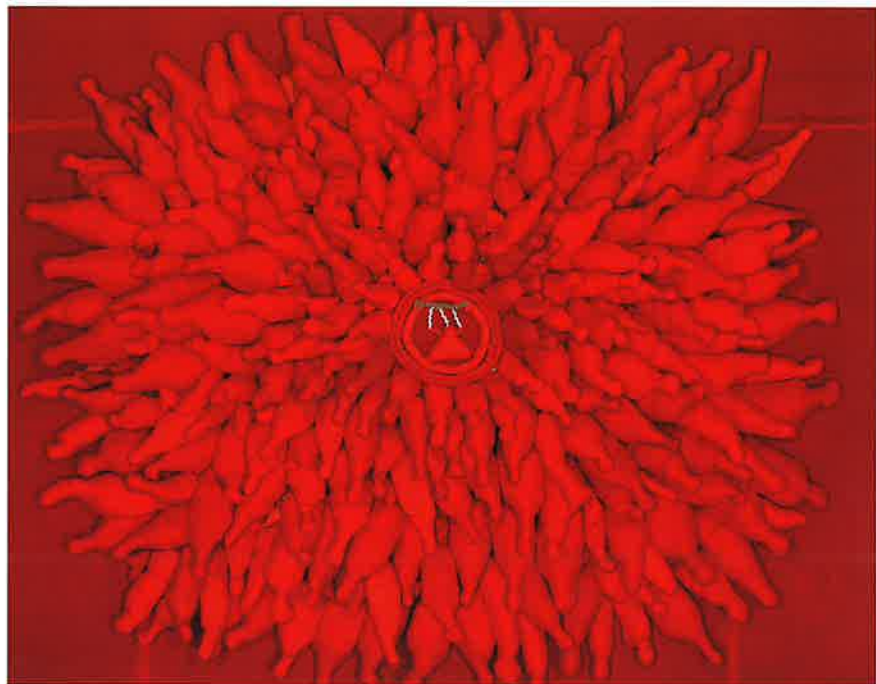


091

contents

常設展
日本近代洋画への道
年間スケジュール

天花
TENGE
天花



常設展

小林和作記念室

「桂ゆきの世界」

2004 1/14 wed ~ 4/11 sun

表紙作品解説

桂ゆき(1913-1991)「誕生」1985年
木・布・紙 136.7×175.6cm 山口県立美術館蔵

エネルギーがあふれ出てくるような作品です。目に飛び込んでくるのは、ムクムクとしたぬいぐるみのような人形の集団。よく見ると中央にはバンザイをした小さな人形がいます。題名からすると、生まれたての赤ん坊でしょうか。この一体を土俵のような円が取り囲み、しめ縄が飾られ、それを見守るように人形が取り囲んでいます。

この真っ赤な人形たちは紅絹で作られています。紅絹は昔、着物の襦袢に使われていた布です。紅絹などの赤い布の染料に使われた紅花には薬用の効果があるとされていました。そのため、赤い布は体に直接接する肌着や産着、子供の腹かけなどに多く使われます。そこから赤い布で目を拭くと眼病が治るという俗信が生まれ、呪い、厄払いといった呪術的な意味が赤い布に込められるようになりました。

この作品では紅絹という素材と強烈な色から感じる呪術的印象に、しめ縄と稲妻型の真っ白な四手、そして内部を神聖な領域とする土俵を思わせる結界といった神聖さを表す要素が何重にも付け加えられています。それらは、新しく誕生する生命という大きなエネルギーを私たちにとても強く印象づけます。

桂ゆきは女性が「男性のように」油絵を描くことに反対された戦前から、紙やコルク、布などを画面に貼り付けるコラージュを発表し、独創的で自由な作品を制作していました。コラージュだけでなくコラージュしているかのように描くという視覚的に複雑な手法を通してユーモラスな形、社会風刺を感じさせる作品を制作する過程を経て、晩年に発表した作品がこの紅絹の連作でした。

(当館学芸員 前田淳子)

郷土工芸室

「前衛陶芸」2004/1/14~4/11

土を使って新しい造形表現を模索している現代陶芸家たちの作品を紹介します。

香月泰男室

「現代の木彫」2004/1/14~4/11

植木茂(1913-84)、豊福知徳(1925-)、澄川喜一(1931-)、深井隆(1951-)の木彫を紹介します。

資料展示室

「石元泰博」2004/1/14~2/15

「奈良原一高」2/17~4/11

石元泰博(1921-)のデビュー作「ある日ある所」(1954)シリーズから、シカゴを写した作品21点、奈良原一高(1931-)の代表作「王国」から婦人刑務所をとらえた「壁の中」(1956)を7点、男子修道院をとらえた「沈黙の園」(1958)13点を展示します。

第二常設展示室

「松林桂月の世界」2/17~4/11

維新後の萩に生まれ18歳で上京した松林桂月(1876-1963)は、野口幽谷に南画を学び文展、帝展等で作品を発表。明治大正昭和を通じて南画の実力者、画壇の重鎮として活躍しました。このたびは繊細でリズムカルな墨線が魅力の桂月作品から大作「愛吾廬」の他、その写実的画風の鍵となる「魚貝類写生図巻」等をご紹介します。



ピーター・ポーコス
「スタック」
1982年
山口県立美術館蔵



深井隆
「逃れゆく思念」
1986年
山口県立美術館蔵



奈良原一高
「沈黙の園 #3」「王国」より
1958年
山口県立美術館蔵



松林桂月「魚貝類写生図巻」山口県立美術館蔵

日本近代洋画への道

高橋由一 山口県立美術館蔵

2003 12/19 (金) ~ 2004 2/1 (日)

休館日 月曜日 ※ただし1月12日(月)は開館、13日(火)休館
年未年始 ※12月28日(日)~1月3日(土)

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

観覧料 一般1,000(800)円 学生800(600)円

()内は前売および20名以上の団体料金

18歳以下・70歳以上の方および高等学校、盲・聾・養護学校に在籍する方等は無料

前売り券はローソンチケット(Lコード:62902)、及び山口県内の各プレイガイド等でお求めください。

主催 山口県立美術館・読売新聞西部本社・KRY山口放送
協力 財団法人日動美術財団

「高橋由一」 《鮭図》をみる。

高橋由一といえば鮭。由一の「鮭」は、美術の教科書にものっていたし、切手にもなりました。画家の名前はわからないけれど、鮭の絵をみれば、ああこれねと思う方も多いのではないでしょうか。

ところで、由一がその生涯に数点の鮭の絵を描いたことは、一般にはあまり知られていないようです。現在、由一が描いたと伝えられる「鮭」は十点以上にもなりません。

今回、山口県立美術館にやってくるのは、それらの中でも秀逸の一本。写実的であることが、油絵の値打ちの一端を担っていた時代。本物そっくりに描くために、由一がいかに努力したのか、じっくりご覧下さい。



高橋由一(丁髷姿の自画像)一八六六―一八七七年
笠間日動美術館蔵



高橋由一(鴨園)一八七七年
山口県立美術館蔵

山口の由一も
特別展示

日本近代洋画への道

高橋由一から落島武二まで 山岡コレクションを中心に

イベントスケジュール

■ 講演会

「明治の洋画家たち」

落島武二 (学芸学芸員)

12月23日(水・祝) 14:00~15:30 美術館講堂室(無料)

■ 講演会

「絵かきが語る近代美術」

落島武二 (美術館員)

1月11日(日) 14:00~15:30 美術館講堂室(無料)

■ 学芸員によるギャラリー・トーク

(観覧券が必要です)

1月18日(日)、25日(日)、2月1日(日) 14:00~

■ こどものためのギャラリー・トーク「みんなてみよう」

(こどもは無料)

1月17日(土)、31日(土) 11:00~

■ ボランティアによる豆知識展示

美術館講堂室(無料)

1月17日(土)、24日(土)、31日(土) 10:00~12:00、13:00~15:00

■ ちびっこルーム(臨時託児室)設置

会期中、休下の日時で赤紙の臨時託児所をご用意します。

1月15日(水)、22日(水)、29日(水) 10:00~13:00

※虫夏草、早予約(訪問する日の夕曜日までに必ず申し込みください)

※詳細は美術館までお問い合わせください。

☎ 083-925-7788



細部まで手ヌキは致しませぬ。



荷札もついでにご覧いただけます。
(なんと書いてあるかおわかりか?)



皮も光らせてご覧にいれませう。

真っ赤な鮭の肉、
黒ずんだ皮と、
対照的ではないでしょうか?

板に落ちる鮭の影。
まるで、鮭が本当に板壁につつて
あるように見えませぬか?

高橋由一(鮭図)一八七九—一八〇年
空閑日動美術館蔵

2003-2004

特別展

4	4/15~9/25 コレクション101
5	
6	6/13~7/6 日本伝統工芸展50年記念展 「わざの美」
7	7/18~9/7
8	7/18~9/7 「フノラド」の美術
9	
10	10/2~10/19 第7回やまぐち県民文化祭 第57回山口県美術展覧会
11	11/11~11/30 山口朝日放送開局10周年記念 生誕250年 旅する女流文人 田上菊舎
12	12/9~12/14 第56回学校美術展覧会
1	12/19~2/1 日本近代洋画への道 —高橋由一から藤島武二まで—
2	2/5~2/8 山口県立大学卒業制作展 2/12~2/15 山口大学卒業制作展 2/19~2/22 山口芸術短期大学卒業制作展
3	

schedule

山口県立美術館 平成15年度年間スケジュール

4/1		工芸 コレクション101		西野新川	4/20
4/22		シベリアシリーズ コレクション101		福田翠光・制作の秘密	5/5
5/7		6/8		学芸員のイチオシ	5/25
5/27		6/10			
7/6		山口の 伝統工芸		福田勝治	
7/8~7/17		全館休館			
7/18~9/7		「ムーミン」の世界展 —サンソンさんからの贈り物—			
9/9~9/12		全館休館			
9/13		古萩展 シベリア・シリーズI		永地秀太の世界	木村伊兵衛
10/5		10/7			
10/7		戦後日本画の変革		10/28 濱谷浩 雪舟と雲谷派	
11/11		萩の茶陶 シベリア・シリーズII		11/30 12/2 小島一郎	
1/12		1/14			
1/12		前衛陶芸 現代の木彫		桂ゆきの世界	石元泰博
2/17		2/17		松林桂月の 世界	奈良原一高
2/15		2/15			

Information

■休館日

月曜日(月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)
年末年始(12月28日~1月3日)
7月8日~7月17日、9月9日~9月12日

■開館時間

9:00~17:00(入館は16:30まで)

■料金

常設展: 一般190(160)円 学生120(100)円
()内は20名以上の団体料金

特別展: 別途に定めた料金

常設展・特別展ともに18歳以下と70歳以上および高等学校、
盲・聾・養護学校に在学する方等は無料。

教育文化週間11月1日~11月7日は全ての方が無料。

山口県立美術館
The Yamaguchi Prefectural
Museum of Art

〒753-0089
山口市龜山町3-1
TEL: 083-925-7788
FAX: 083-925-7790

<http://www.pref.yamaguchi.jp/kenbi/index.htm>

